

～はじめに～

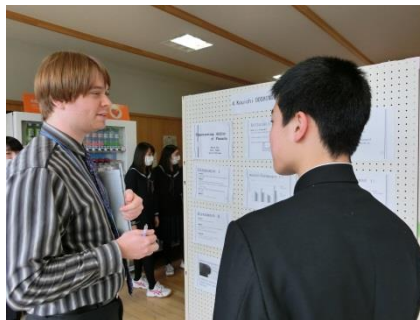
今年度より再びスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定され、2期目の取組みがスタートしました。全校でゼミ活動を行うなど新たな取組みも始まりましたので、SSH通信を通じて皆さんに紹介していきます。

〈第2期目のSSH事業にあたって〉

SSH推進室主任 吉田 英男

『皆さん、学び合ってるか〜い!』SSH推進室の吉田です!いよいよ第2期のSSH事業が本格的に動き出しました。第2期SSH事業の柱は「学年やクラスの枠を超えたゼミ活動(探究活動)」です。これは、第1期SSH事業で特に効果のあった理数科「課題研究」を全校・全職員で行うという壮大なプロジェクトです!研究では成功することもあるれば、失敗することもあるでしょう。そのとき「なぜ?」という科学的な視点を持ち、「分析・解釈」することで解決のヒントが見つかります。是非、仲間や担当の先生、地域の方々などつながって探究して下さい。きっと、君たちの『未来を切り拓く』大切な経験が得られます!いざ、探究!!

## 課題研究英語プレ発表会を実施しました



4月27日(木)課題研究英語プレ発表会を実施しました。今回は、5月に実施される課題研究英語発表会へ向けて、実際にALTの方々の前で英語プレゼンテーションを行い、発表の仕方やプレゼン資料等について様々な助言・アドバイスをいただきました。

3年生の生徒からは、「英語が難しかった」「予想外の質問が来て困った」などの感想が聞かれ、本番に向けた課題がたくさん見つかったようです。また、聴講した2年理数科の生徒は、プレゼンテーションの仕方に特に関心を持ったようで、「映像を取り入れた発表がわかりやすかった」「来ていただいた人が楽しんでもらえる発表をしたい」などの感想が寄せられました。

## 課題研究英語発表会を実施しました

5月18日(木)本校石楠花ホールにて、3年理数科生徒による英語での課題研究発表会を行いました。助言者に県教育委員会の指導主事や県内のALT、大学の先生、岩手大学の学生など19名をお招きし、前回のプレ発表会で指摘された点などを修正し発表を行いました。

工夫したプレゼンテーションやパフォーマンスも飛び出し、自分たちの研究成果を分かりやすく伝えることができました。聴講した2年理数科の生徒からも英語で質問が出され、とても盛り上がった発表会となりました。



## SS探究 I 「地域課題講演会①～③」を実施しました

SS探究 I は1学年を対象とした科目です。この科目は大きく分けて「地域の現状を学ぶ」、「学問領域を学ぶ」、「探究基礎」の3つのテーマを設定しています。まずは身近な地域の課題について考えることから始め、大学などではどのようなテーマに対してどのような研究活動が行われているのかについて学び、最終的には自分でテーマを設定して探究活動を行うこととなります。現在は、「医療福祉・行政・産業・環境問題」の4分野において地域の抱える様々な課題について講演をいただき、幅広く物事を考えるための知識を身につけています。

最初の講演会は「行政・医療福祉」分野の講演をいただきました。「行政」分野では、釜石市オープンシティ推進室室長 石井重成氏をお迎えして「オープンシティ釜石が目指すもの」と題して、釜石市が取り組む様々な活動について具体例を挙げて講演をいただきました。「医療福祉」分野では医療法人楽山会はまゆり介護支援センター介護専門員 鳩岡貴士氏をお迎えして「より多くの人々の生活を守る(救う) 町をめざして」と題して、介護のあり方、人と人との関わりについての講演をしていただきました。

第2回の講演会は廃油のみ(写真の車)で世界一周をした、一般社団法人 United Green 代表 山田周生さんをお招きし、世界の自然環境の変化や BIO ディーゼル燃料、「地域循環型持続生活」などについて講演を行っていただきました。今回は、ゼミでエネルギー関係の研究に関わる2, 3年生の希望生徒20名の生徒も聴講しました。講演後には生徒からたくさんの質問が出され、活発な講演会となりました。講演終了後は実際の BIO ディーゼル車の見学・天ぷら油の給油体験も行われ、有意義な時間となりました。

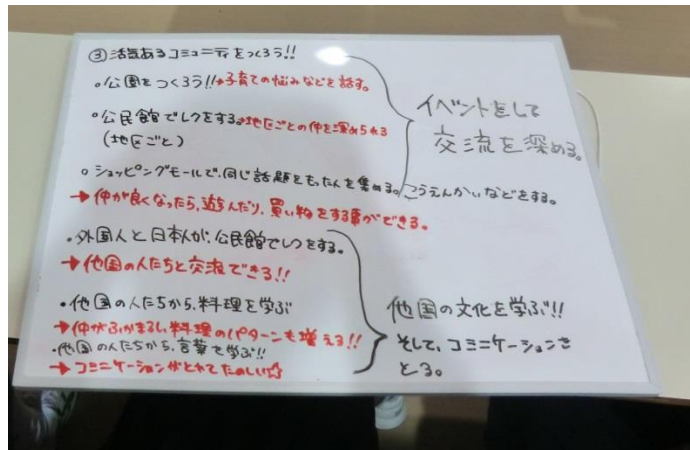
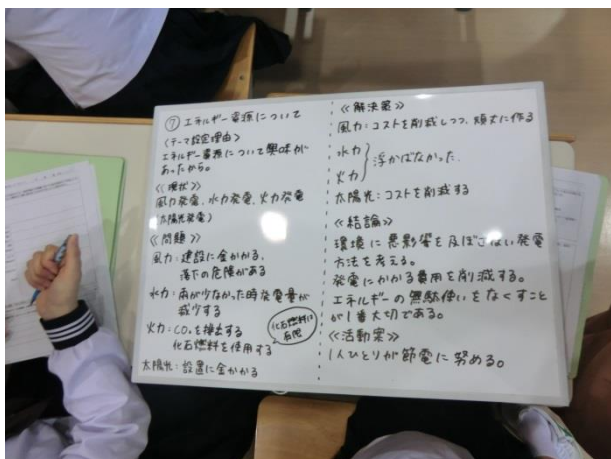


第3回講演会のテーマは「産業」でした。新日鐵住金株式会社 棒線事業部 釜石製鉄所の保坂豪氏からバイオマス発電と地域の森林組合との連携について、新日鐵住金の取組みなどを講演いただきました。また、岩手大学三陸復興・地域創生推進機構 釜石サテライトより釜石市リージョナルコーディネーター(釜援隊)の齋藤孝信氏をお招きし、釜石市の海洋資源や漁業を取り巻く現状と課題について講演をいただきました。

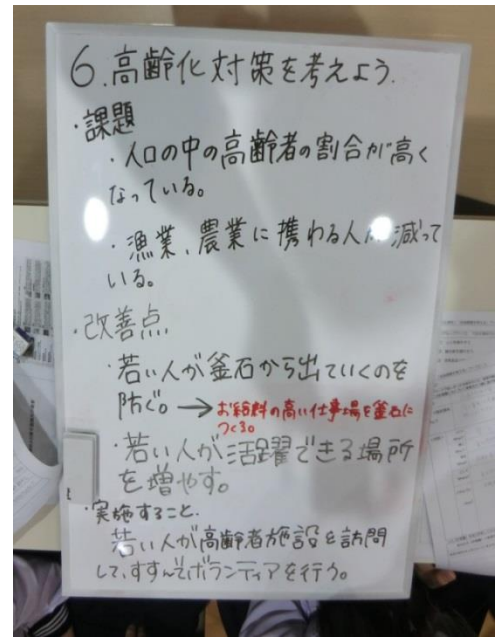
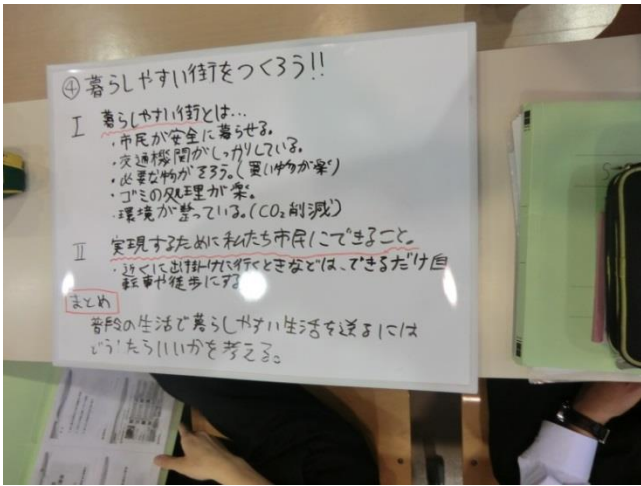
いずれの講演会でも講演の後には、グループワーク等を行ってたくさんの意見交換を行うこともできました。

## SS探究 I 「地域課題講演会」まとめのグループワークを行いました

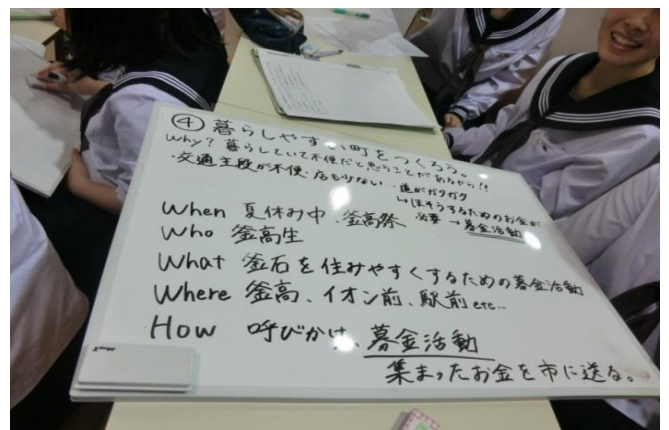
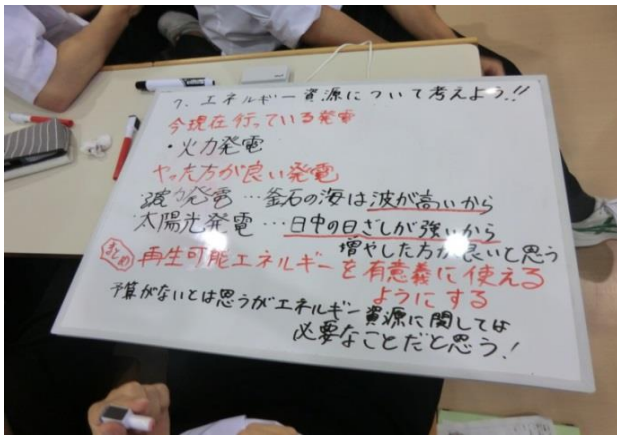
これまでの3回の「地域課題講演会」で学んだこと、考えたことを計画書にまとめるためのグループワークを行いました。「実行可能な事業計画書を作成しよう」ということで①人口を増やそう②観光客を増やそう③活気あるコミュニティをつくろう④暮らしやすい街をつくろう⑤医療従事者の対策を考えよう⑥高齢化対策を考えよう⑦エネルギー資源について考えよう⑧地域資源を有効活用しようの8テーマから1テーマを選びグループワークを通じて各自の考えを深めた後、個々に事業計画書を作成しました。非常に活発なグループワークとなりましたので、そのグループワークでの意見内容を以下にご紹介します。







今回のグループワークでは、各クラスで必ず①～⑧すべてのテーマを話し合う班ができるように設定しました。このため、話し合いたいテーマを勝ち取るためにも白熱した舌戦が繰り広げられました。



グループワークやこれまでの講演会を基に生徒たちが書き上げた計画書の一部を以下に掲載します。

尚、SSH 通信でご紹介できなかった活動の様子については、本校 HP や Facebook でもご紹介しています。

是非ご覧ください。

【計画書】	
グループワークで話し合った内容をもとに、実現可能な【計画書】を以下の視点を確認して作成しよう。実際にこの計画書にもとづいて事業を行う際に誰が見ても分かりやすいように書きなさい。	
テーマ	暮らしやすい街をつくらう
テーマ設定理由	このまちの課題をみて、釜石にはまだ足りないものの改善点があると思えたから
Why?	
<内容>	
いつ	SSHの時間を確保して制作
誰と	1学年の中で行う
Who?	
何を	持ち運べるサイズのポスターボード (外国人や観光客、30歳や隣町に住むお母さん)
What?	
どこで	学校
Where?	
どのように	絵が中心 おすすめの場所(観光スポットや飲食店)を表示 点字を使って障がい者にもわかりやすく 外国人にも理解してもらうために英語表記のものを作る ゆるキャラを使う 団体などの協力を受ける
How?	
上の【計画書】を自己評価してみよう。	
あなたの【計画書】の実現可能性	80 %
実現可能性を上記のように考える理由を具体的に書きなさい。	
費用があまりかからない、釜石生だけだから	
自分達も釜石のまちを知れる、需要がある	

【計画書】	
グループワークで話し合った内容をもとに、実現可能な【計画書】を以下の視点を確認して作成しよう。実際にこの計画書にもとづいて事業を行う際に誰が見ても分かりやすいように書きなさい。	
テーマ	観光客を増やそう
テーマ設定理由	人口減少も問題となっており、観光客も減っているのだから対策を考えた、町の活性化を目指したいと思、だから
Why?	
<内容>	
いつ	2019年
誰と	
Who?	釜石高校生
何を	
What?	ボランティア
どこで	
Where?	会場 ラクビーワールドカップ
どのように	釜石の特産物をF&Fし、外国人向けの標識やポストター、パンフレット(お土産)を企画から販売のお酒のつまみとしてその国の有名品を出す。 外国人向けの自販機販売機、ヘアサロン、ダンスホール、おみやげショップ、外国人の通訳
How?	
上の【計画書】を自己評価してみよう。	
あなたの【計画書】の実現可能性	70 %
実現可能性を上記のように考える理由を具体的に書きなさい。	
ラクビーワールドカップが2019年に開かれるので、釜石の特産物をF&Fし出し、販売できるし、ポストターなどは外国人に案内できると思う。F&Fは、外国人向けのお店など、開業のいる国に行き、F&Fと調べた方がいいと思うから難しいと思う。再販は英語の勉強も経済的に23高校生は母でも通訳だと思っ、	

釜石高校 SSH  
Facebook